



P LAID SHIRTS



ペンドルトンに関する話①

「ギャップ」のネルシャツ

秋の声を聞くと急に気になってくるブランドがあるが、ブランケットやネルシャツでお馴染みのペンドルトンも然り。でも写真を見て、開襟気味の定番ネルシャツとちょっと違うかも、と思った方はご明察。実はこれ、ギャップとコラボしたカバセルコレクションなのである。言われてみれば確かに、アウトドア由来のラギッド

さて、「街で着るネルシャツ」のスマートさがいい塩梅で融合。アメリカンカジュアルを代表する2者のコラボだからこそ、そんなフュイキを醸し出せるのかもね。ヘビロテの秋シャツになりそうな予感に満ちたこちら、柄違いでの複数買いも推奨しておこうか。各7315円／ギャップ(ギャップフラッグシップ原宿)

P ENDLETON



「車検証ケース」や
「スマートキーホルダー」も



ペンドルトンに関する話②

「ペンドルトン」のカーグッズ

お、ペンドルトンのティッシュケースか。いいね。で、レザーストラップとハト目はどう使うの？ 実はクルマ用で、ヘッドレストの脚に通してぶら下げるという寸法だ。こんなカーグッズを手掛けたのは、中古のランドクルーザーを専門に扱う「フレックス・ドリーム」。ペンドルトン社の正規ライセンスを得て、シートカバーをあの

ブランケット生地に張り替えるサービスを行っている人ぞ知る店なのだ。納得。選びの決め手に欠けていたこのアイテムに、決めの一手を打ってくれたアイデアに拍手。●ティッシュケース9800円、車検証ケース各9800円、キーホルダー各2980円[すべて税込]／すべてペンドルトン(フレックス・ドリーム調布店)

収納の充実ぶりに改めて感心



1

2

3

4

RAINBOW OF CALIFORNIA

自分の初めての財布、覚えてる？

「レインボー オブ カリフォルニア」のウォレット、オーガナイザー

初めて財布を持ったのは小学生の頃だったと思う。でも革の財布じゃなくて、「ベリッとはがす」タイプのアレ。そんな追憶のなかの財布の元祖が、こちらだったのだ。1977年にカリフォルニアに創業した、その名も「レインボー オブ カリフォルニア」。世界で初めてベルクロとナイロンで折り畳み財布を作ったブ

ンドである。自分の子供の「初めて財布」として買ってあげてもいいと思う。そんなことを考えていると、オッサンの心に“虹”がかかるような気がするのは、ちょっとセントimentalすぎるか。●1&3_11×18.5cm 各4200円、
2&4_10×13cm 各2600円／ともにレインボー オブ カリフォルニア(エイアンドエフ)

R ICE



OC世代が考えたコメ

「ファームエクスプレス」の米

日本の食の基本を支えるコメ作り。その聖地・新潟で奮闘するOC世代の仲間たちがいる。その名は「ファームエクスプレス」。この会社が精魂込めて作るコシヒカリ「ひばり」は、粘土層の土壤と希少な軟水エリアに限定して栽培されるブランド米だ。超低温保管により玄米を冬眠状態にすることで、発送直

前まで鮮度を保証するという。ちなみに田んぼの前の男性は、同社がスポンサーするプロサーファーの河村海沙さん。こういう動きも何だか新しい感じ。食から日本の未来を作り出そうとする新たな挑戦に敬意を表したい。●定期便5kg 1200円[500セット限定・初回お試し価格]／ファームエクスプレス